

2020年度 第7回「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」
活動助成、教員研修等
募集要項

【申請期間：2020年6月22日（月）～7月22日（水）必着】

<文部科学省後援事業>



- ・主催：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
- ・協力：アクサ生命保険株式会社
- ・後援：文部科学省
- ・プログラムコーディネーター兼講師：及川 幸彦先生（東京大学大学院教育学研究附属海洋教育センター）
- ・講師：上田和孝先生（新潟大学 新潟大学工学部・工学力教育センター）
- ・研修協力：認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia、気仙沼市教育委員会、
気仙沼市立階上小学、気仙沼市立階上中学校、宮城県多賀城高等学校（予定）

1. プログラムの目的

2020 年は、世界中が新型コロナウイルスにより大きな困難を抱え、社会や生活様式を変えていかなければならない状況に陥っています。各校におかれましても、日々の教育実践や学校運営において、非常に困難な状況があることと拝察いたします。

このような中でも、自然災害はいつどこで発生するか分かりません。東日本大震災から 9 年の月日が経過した今日においても、大震災の記憶を風化させず、その教訓を活かし、今後起こりうる災害に備えるための取り組みが求められています。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、アクサ生命保険株式会社の協力を得て、災害時、**地域の重要な防災・減災拠点となる学校の「防災・減災教育」を推進し、将来、地域の防災リーダーとなり得る児童・生徒を育てる支援事業**として、2014 年から 6 年間、「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」を実施してきました。これまで、のべ 139 校、196 名の先生方が教員研修会に参加し、減災教育を推進してきました。

本プログラムは、次の 3 つのプログラムから成り立っています。①「防災・減災教育」を実践する小・中・高等学校を対象とした活動助成。②東日本大震災の経験や教訓を活用した取り組みを学ぶ教員研修会。③参加した学校同士が地域を越えて日本各地の様々な災害リスクに備える取り組みを学び合う活動報告会、減災教育フォーラム。これらのプログラムを通じて、学校の防災・減災教育を支援します。

新型コロナウイルス感染拡大による厳しい状況だからこそ、本プログラムが提供する新しい視点の防災・減災教育の基礎・理論や、被災地の学校の経験・教育実践を、各校の防災・減災教育に活用していただきたく存じます。そして、これから起こり得る、**既知や未知の災害やあらゆる困難に立ち向かい、解決策を見出す力の基盤となる、児童・生徒の『生きる力の育成』や『多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となる資質』**を育てていただきたく存じます。

本プログラムの**教員研修会**は、これまで専門家や講師の方々のご指導の下、宮城県気仙沼市の被災地を実際に訪問して実施してまいりましたが、本年は参加者の皆さまの安全を第一に考え、**オンラインでの研修に変更し、講師及び気仙沼市と参加校の先生方をインターネットで結んで実施する予定です。**

2. 助成対象校

今後起こりうる様々な自然災害（例：地震、津波、台風、豪雨雪、洪水、土砂災害、火山噴火…等）に備えるための「防災・減災教育」に取り組む小学校、中学校、高等学校（義務教育学校、特別支援学校等を含む）

※本プログラムにおける過去の助成校（採用校）も申請可能です。ただし、過去の採用年から 2 年以上経過した学校に限ります。（2019 年度に採用された学校は、今回は申請できません。申請条件は下記「5. 申請条件」をご覧ください。）

3. 助成対象分野

- ・防災・減災教育の授業や活動に必要なもの等（自動車やマイクロバスなどのガソリン代は助成できません。）
- ・本プログラムのオンライン研修受講のための ICT 関連機器（Web カメラなど）の購入費（詳細は、下記「5. 申請条件⑤」をご覧ください。）

4. 助成金額

1 校につき助成金 10 万円（一律）

※小学校・中学校・高等学校を合わせて最大 20 校程度への助成を予定しています。

（この内、過去の助成校の再助成枠は 5 校程度を予定しています。）

5. 申請条件

下記①～⑤のすべてを満たすことを応募条件とします。

- ①助成対象活動は、2020 年 4 月 1 日以降に活動を開始し、2021 年 3 月末日までに終了する活動であること。
- ②2020 年 9 月 24 日（木）～25 日（金）（※日程は変更になる場合があります）に開催する「オンライン教員研修会」の全日程（1.5 日間）に、1 校につき最大 2 名の教員が参加できること。
なお、ご参加いただく教員については、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、研究主任、または防災を担当する教諭（防災主任など）のいずれかの先生がご参加ください。

※本研修は、学校の防災・減災教育を充実させる目的で実施しています。出来る限り校内での持続発展性を考慮したうえで、適切な方をご派遣ください。

※2名参加の場合、参加する教員は、管理職の責任のもと、下記(1)、(2)のいずれかの条件に該当する教員を申請してください

(1) 管理職(1名) + 現防災・減災教育担当教員(1名)

(2) 現防災・減災教育担当教員(1名) + 次年度以降、主担当が期待される教員(1名)

※過去の助成校が再申請する場合は、上記条件に準じるとともに、過去に本プログラムに派遣していない教員を派遣してください。

③2021年2月中・下旬頃(金～土曜日)に東京都内で開催する「活動報告会および減災教育フォーラム」(1泊2日)の全日程に1校につき最大2名の教員を派遣し、活動報告を行うこと。

※原則として、9月のオンライン教員研修会に参加した教員と同じ先生をご派遣ください。

※旅費の補助があります。詳細は下記「6. プログラム内容」をご覧ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンラインでの開催になる場合があります。

④活動終了後、2021年3月末日までに、所定の様式にて活動報告書(A4・2ページ程度)および会計報告書(領収書の原本添付)を提出できること。

※その他、貴校の防災・減災教育に関する年間指導計画、助成活動で使用した学習指導案、学習に使用した教材や活動写真、報告会等の発表資料(コピーや画像)、児童・生徒の制作物などの成果物(コピーや画像)等の教材や資料を、可能な範囲でご提供いただきますようご協力をお願いいたします。

(ご提出いただいた活動報告書や年間指導計画、その他教材・資料等については、全国の学校に参考にしていただけるよう、本プログラムのホームページ上に掲載させていただきます。)

⑤本プログラムのオンライン研修の受講に必要なインターネット回線、パソコン周辺機器など、オンライン会議ができるICT環境を自校でご準備できること。

※本プログラムのオンライン研修の受講に必要なICT関連機器(Webカメラなど)の購入に関しては、3万円を上限とし、助成金で購入することも可能です。

【再助成枠について】

本プログラムにおける過去の助成校(採用校)も申請可能です。ただし、過去の採用年から2年以上経過した学校に限ります。(2019年度に採用された学校は、今回は再申請できません。)

6. プログラム内容 本プログラムは、次の3つのプログラムによって構成されています。

①防災・減災教育に取り組む学校への活動助成

・1校につき助成金10万円(一律)

②助成校の教員を対象にしたオンライン教員研修会

・日程:2020年9月24日(木)～25日(金)【1.5日間】

・Web会議のツール(ZOOMなど)を使用し、オンラインによる講座、活動参観・対話、ワークショップ等を行います。

・プログラム内容の詳細は、別紙をご覧ください。

※研修内容、当日のスケジュール等に関しては、変更になる場合がございます。

※どのようなツールを使用するかなど、実施方法の詳細は追ってお知らせします。

※オンライン研修会については、Web会議のツール(ZOOMなど)を使用して、事前に通信テストを実施させていただき、当日に備える予定です。事前の通信テストにご参加ください。通信テストの日程や実施方法等は追ってお知らせいたします。

③活動報告会および減災教育フォーラム

- ・日程：2021年2月中・下旬頃（金～土曜日）【1泊2日】予定
- ・場所：東京都内
※新型コロナウイルスの感染状況により、オンラインでの開催に変更となる場合もあります。
- ・内容（予定）※内容は変更になる場合があります。

【1日目】「活動報告会」（プログラム参加校対象）

- ・助成校の教員による各校の実践発表・意見交換、ワークショップ等

【2日目】「減災教育フォーラム」（一般参加可能な公開フォーラム）

- ・新学習指導要領やESD/SDGsを踏まえた防災・減災教育のあり方と実践事例、パネルディスカッション、ワークショップ、他地域の学校との情報交換・交流

- ・旅費の補助：派遣いただく教員の学校（または自宅）の最寄り駅から本活動報告会会場の最寄り駅までの合理的な経路にもとづく交通費の実費を全額補助します。（経路を申請いただき、旅行会社にて切符を手配いたします。）また、活動報告会および減災教育フォーラム中の交通・宿泊・食事は主催者にて手配します。

※活動報告会・減災教育フォーラムの詳細は後日お知らせいたします。

過去の教員研修会および活動報告会のようす、過去の助成校の活動報告書の内容等は、パンフレット、本プログラムホームページ（www.unesco.or.jp/gensai/）をご覧ください。

7. 申請締切日

2020年7月22日（水） 郵送必着

8. 審査結果通知

本プログラム審査会での審査後、2020年8月初旬までに郵送にて通知します。

※助成金は、助成決定校に対して、8月中旬頃に前払いでお振り込みします。

<申請の際に留意いただくこと>

A. 審査基準について

提出された申請書に基づき、以下のような観点から審査会にて審査を行います。

【共通基準】

- ① 学校現場における必要性が高い活動であるか。
- ② 児童・生徒が防災・減災について主体的に学び、考え、取り組む活動であるか。
- ③ 防災・減災の視点およびねらいが明確であるか。
- ④ 地域の地理・文化・歴史等の特性に合った活動であるか。
- ⑤ 活動終了後、その後のさらなる取り組みへの展開が期待できる活動であるか。
- ⑥ 可能な範囲で、本プログラムにおける研修での学びや自校の取り組みを他校や地域に発信するなど地域への波及効果が高い活動であるか。

【過去の助成校が申請する場合の追加基準】

- ⑦ 本プログラムの研修の成果を活かし、これまでの取り組みを改善して、今後取り組みを継続・発展しようとしているか。

※被災地支援の活動は本助成の対象外です。（あくまでも、自校や地域の防災・減災教育を充実・強化するための教育実践計画をご申請ください。）

B. 申請書の作成について

- ① 活動内容については、できるだけ具体的にご記入下さい。
- ② 補足資料がある場合は、A4サイズの用紙にて添付してください。
- ③ 担当者氏名欄には、申請内容の詳細を把握している方のご氏名を記入下さい。

◆申請書類の送付先（郵送受付のみ）

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1 朝日生命恵比寿ビル 12 階
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 「減災教育」係

◆問い合わせ先

日本ユネスコ協会連盟 減災教育係（上岡・藤田）

電話：03-5424-1121

Eメール：gensai@unesco.or.jp

※申請書様式の Word ファイルはホームページからダウンロードしてください。

◆ホームページ：<http://www.unesco.or.jp/gensai/>（「ユネスコ 減災」で検索）

※募集要項や申請書は、ホームページからもダウンロードしていただけます。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟とアクサ生命保険株式会社は、UNESCO (United Nations of Educational, Scientific and Cultural Organization: 国際連合教育科学文化機関) が推進する ESD (持続可能な開発のための教育) ならびに国連サミットで採択された SDGs (持続可能な開発目標) の重要な分野の一つである防災・減災教育に取り組む学校を支援します。

とりわけ、自然災害においては、被害を完全に防ぐことが困難であることを前提に、被害をできる限り最小限に抑えることを目指す「減災」の観点から、従来型の防災・避難訓練活動にとどまらず、災害に対して総合的な視点を持ち、より実効性を高めることを目指す防災・減災教育を推進します。

【別紙】

「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」
オンライン研修会プログラム(案)

※研修内容、当日のスケジュール等に関しては、変更になる場合がございます。

【1日目】 9月24日(木) 13:15～16:45

閉会式	開会の言葉(主催者・ご協力企業)、講師ご紹介
オリエンテーション	研修プログラムの趣旨・内容・目的・意義
研修1	「東日本大震災からの教育復興」 演題 「宮城県気仙沼市における東日本大震災の被害状況と教育復興の教訓(仮)」
研修2	『新たな視点からの防災・減災教育の基礎と理論』 演題 「これから必要とされる防災・減災教育とは？ ～災害を乗り越え、生き抜く力を育む防災・減災教育(仮)」
研修3	『防災・減災教育のカリキュラムマネジメント』 演題 「防災・減災教育カリキュラムの開発手法と実践 ～防災学習シートの活用を通して～」
総括	1日目の総括

【2日目】 9月25日(金) 9:00～16:45

研修4	『東日本大震災からの復興における気仙沼市教育委員会の役割』
研修5	『小学校における防災・減災教育の実践』 <授業参観・ディスカッションなど> 実践発表(中継):宮城県 気仙沼市立階上小学校
研修6	『中学校における防災・減災教育の実践』 <生徒の実践発表と生徒と参加者との対話など> 実践発表(中継):宮城県 気仙沼市立階上中学校
研修7	『高校における防災・減災教育の実践』 実践発表(中継):宮城県多賀城高等学校
研修8	『防災・減災教育推進のためのネットワーク構築の意義と方法』 演題 「減災教育におけるN助の必要性 ～地域や外部とのネットワーク～」
研修9	ワークショップ 『研修成果の共有と今後の展望』
総括	本研修の総括
閉会式	閉会の言葉(主催者)

【研修講師(予定)】

- ・及川 幸彦先生(東京大学)
- ・上田 和孝先生(新潟大学)
- ・気仙沼市教育委員会 教育長
- ・宮城県 気仙沼市立階上小学校 校長、教頭、教諭、児童等
- ・宮城県 気仙沼市立階上中学校 校長、教頭、教諭、生徒等
- ・宮城県多賀城高等学校(予定)